

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 ハレルヤハウス		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 13日		～ 2026年 2月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2026年 1月 13日		～ 2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題をしっかりと検討した上で、個別支援計画書の作成を行い、提供できている。	子どもとたくさん関わることや、信頼関係を築くことで適切なアセスメントを行っている。 個別支援計画書に沿って支援提供できるよう、毎日の話し合いの時間を大事にしている。	もっとインフォーマルなアセスメントを強化していきたい。
2	事業所評価アンケートの27・28・29(満足度)のご意見や「はい」の評価が多いこと。	安心して過ごせる場所となるよう、子どもの気持ちに寄り添い、向き合い、受け止めている。	子どもの発達や状況に合わせた対応ができるよう、職員のスキルアップを目指していく。
3	職員間で情報の共有をしっかりと行うことができている。	毎日のミーティング時や会議、業務中でも話題にするなど、職員同士が積極的にやりとりを行うなどの工夫を行っている。また、視覚的に残して共有することもできている。	みんなが話しかけやすい職場の雰囲気作りを今後も継続していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の周知・説明が不足している。 ※支援プログラムについても説明不足。	発生を想定した訓練の実施をしていることも周知できていない。	契約時や定期的に行っている面談時に各マニュアルの説明を行っていく。  ※支援プログラムはホームページに掲載している。
2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているが、全保護者に伝わっていない。	年4回の計画で地震、火災、防犯訓練を行っている。 送迎時に口頭では伝えているが、視覚的にも伝えていくことを検討した。	事前に利用申込書に訓練日を記載していく。
3	学校や他事業所での子どもの様子の情報共有が薄い。	保護者や学校の先生、相談員や他事業所それぞれに必要なに応じて子どもの様子の確認を行っているが、関係者が集まって話し合いをする場の設定がない。	保護者や相談員に担当者会議開催の依頼をしていく。 または会議を主催していく。